



- [入学希望の皆様へ](#)
 - [在学生の皆様へ](#)
 - [卒業生の皆様へ](#)
 - [企業の皆様へ](#)
 - [地域の皆様へ](#)
 - [教職員の皆様へ](#)
-
- [ホーム](#)
 - [長崎大学について](#)
 - [学部・大学院・附属施設](#)
 - [修学案内](#)
 - [学生生活](#)
 - [研究活動・産学官連携](#)
 - [就職情報](#)
 - [入試情報](#)

ホーム > 長崎大学について > 大学からのお知らせ > 学術情報一覧 > 福島県いわき市における内部被ばく線量の評価

長崎大学について

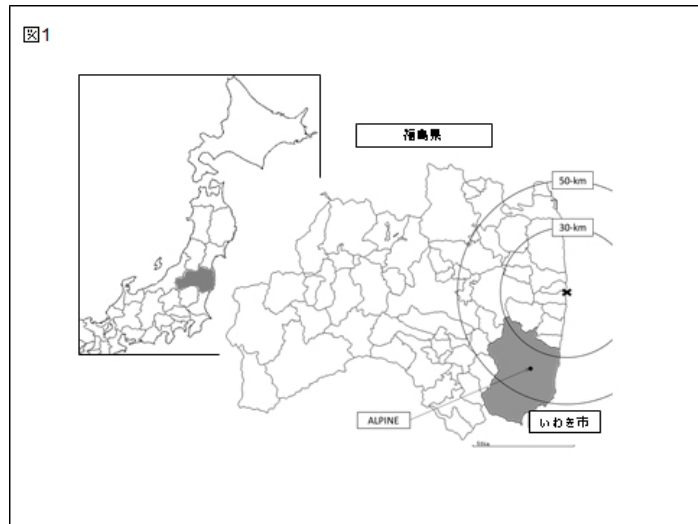
- 学長メッセージ
- 大学からのお知らせ
- ニュース&トピックス
- イベント情報
- 学術情報
- 公開講座
- 広報誌
- 施設貸出案内
- 宿泊施設「観月荘」のご案内
- 東京事務所(長崎大学教職員・学生・OB専用)
- 調達・工事情報
- 教職員採用情報
- 大学案内
- 理念、ミッションの再定義及び特色
- ロゴマーク・学歌など
- 寄附金・共同研究・受託研究
- 情報公開・個人情報保護
- 数字で見る長崎大学
- 大学点検・評価
- 卒業生向け情報
- 国際戦略

福島県いわき市における内部被ばく線量の評価

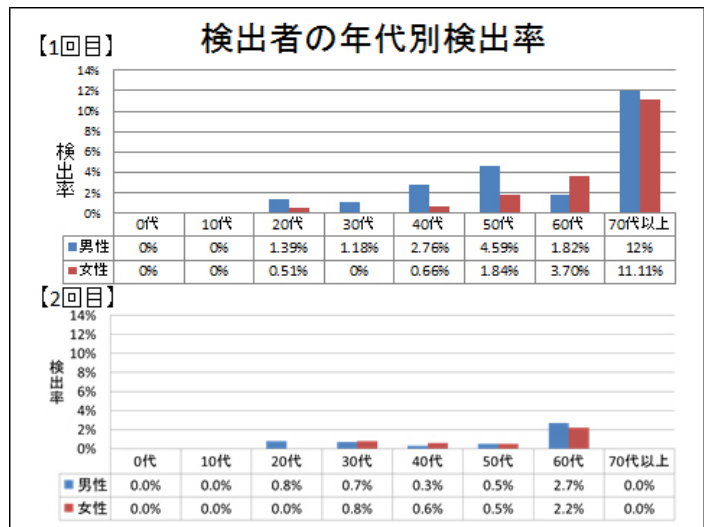
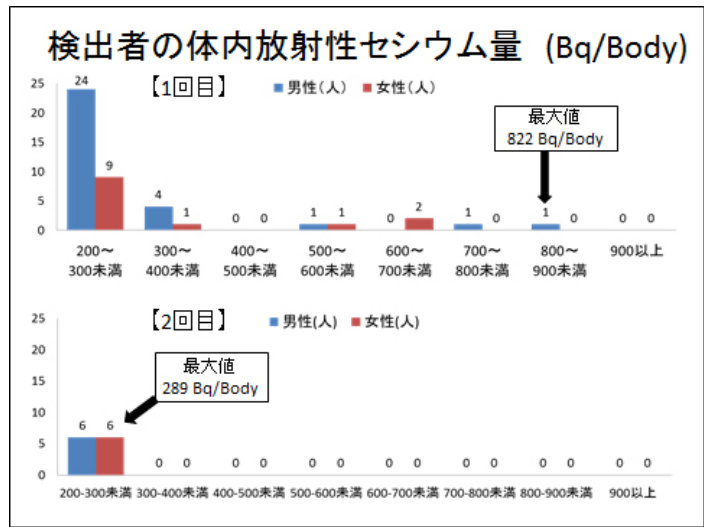
5
 0
 2
 1

2014年12月08日

原爆後障害医療研究所の高村昇教授、医歯薬学総合研究科の折田真紀子助教らの「福島県いわき市における内部被ばく線量評価」の研究論文が、12月5日付けで米総合医学雑誌であるPLOS ONEに掲載されました。これは、福島第一原子力発電所事故に伴う内部被ばくのさらなる低減のため情報提供を行う事を目的として、ホールボディカウンタ(WBC)を用いて、いわき市における内部被ばくの実態を調査した結果をまとめたものです。この研究の結果において、内部被ばくは低いレベルに限られていることが示され、一般住民における内部被ばくの低減化対策が有効であることが示唆されました。今後も性別や年齢、季節や食習慣の違いを考慮したきめの細かいモニタリングが必要であると考えられます。



放射性セシウムの検出率						
		検出者数		体内放射能 (Bq/Body)		
		(検出率、%)		中央値 (最小値 - 最大値)		
測定	全体	Cs-134	Cs-137	Cs-134	Cs-137	K-40
1回目	2839	12 (0.42)	37 (1.30)	222 (200-495)	258 (221-565)	3681 (1624-8884)
2回目	2092	0 (0.00)	12 (0.57)	< 200	246 (225-289)	3366 (1265-9628)



[このページの先頭へ](#)

[プライバシーポリシー](#) | [サイトポリシー](#) | [免責事項](#) |

[ホーム](#) | [長崎大学について](#) | [学部・大学院・附属施設](#) | [修学案内](#) | [学生生活](#) | [研究活動・国際交流](#) | [就職情報](#) | [入試情報](#) |

国立大学法人 長崎大学: 長崎大学広報戦略本部 〒852-8521 長崎市文教町1-14

Copyright© 2010 Nagasaki University, All Rights Reserved.